

(令和7) 年度 児童館事業年間活動報告書 (音羽) 児童館

活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
(3)子ども未来食堂	24	74	56	98	13	37	4	80	0	0	0	362	月に2回子ども食堂を開催。小学生対象に土曜日や学校長期休みに昼食を提供。今年度も乳幼児親子対象に乳幼児クラブや子育てイベントに併せて軽食を提供。さまざまな献立で食事を楽しむ。	同じ献立をみんなで食べることにより、仲間意識を深めることができた。乳幼児親子の交流の場として活動できた。よりニーズに合わせた内容を展開していきたい。
(2)つくってみよう会	13	20	43	201	8	32	6	17	0	0	0	327	幼児から小学生までを対象に、毎月1～2回の工作行事。季節感も考慮して内容を設定し実施。	子ども未来食堂と組み合わせ実施することで、様々な年齢や学年の参加があり、工作遊びを展開できた。
(3)避難訓練	12	21	8	314	1	58	1	29	0	0	0	432	災害時に備えて毎月1回、避難訓練を実施。	様々な想定で訓練することができた。来年度は実施時間もさまざまに実施したい。
(3)防犯訓練	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	洛和会の危機管理部長にお越しいただき、職員向けの防犯訓練及び、さすまたの使い方や身の守り方を学ぶ。	講義形式と実践形式の研修を通して、専門的な視点で学ぶことができた。
(3)フレンドリーデー	6	0	0	110	1	24	0	0	0	0	0	135	様々な種類の集団遊びを2カ月に1回実施。集団遊びを通し縦割り交流を深める。	さまざまなあそびを体験することができ異年齢集団の交流ができた。
(1)卓球デイ	22	2	17	34	9	13	0	5	0	0	0	80	卓球に親しめるよう、小中高生の活動。	少しずつ取り組みが定着してきて、卓球デーのために来館する利用者もあった。初めて卓球をする子も練習を重ね、楽しむことができた。
(3)将棋大会	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	第13回「京都子ども将棋交流大会」に参加する。会場は北野天満宮。代表児童2名が参加した。	将棋クラブでの成果を試す良い機会となった。「繋がる楽しみ、喜び」を得ることができた。
(4)将棋クラブ	25	0	1	66	37	20	0	0	0	0	0	124	月2回登録制のクラブ活動。将棋講師から礼儀作法や対局の実践指導を学ぶ。	将棋大会に向けて対局練習を積み重ねることができた。将棋大会に向けて、児童は意欲的に取り組むことができた。
(4)おとガーデン	35	0	0	161	0	12	0	0	0	0	0	173	登録制のクラブ活動。さつまいもやプリムラを育てる活動をする。	さつまいもの収穫を目標に異年齢間の交流を持つことができた。児童たちからやりたいことの見聞き、実行する機会となっている。
(4)おりがみクラブ	24	0	2	124	0	0	0	0	0	0	0	126	登録制のクラブ活動。子どもたちで決めたテーマや季節にあったテーマで折り紙を使って製作する。	一年を通して、折り紙の技能の上達が見られた。作品を壁面飾りにして活動目標をもちながら活動することができた。
(4)スタッフクラブ	19	0	0	0	13	77	12	0	0	0	0	102	今年度から実施。登録制のクラブ活動。高学年児童から中高生世代の子どもたちがスタッフとして役割を持ち、児童館の行事や自分たちがやりたい取り組みを実行できる活動の場。	行事のコーナー担当を持ったり、お出かけの企画をしたり、自分たちで準備、実行をして、子ども主体の活動、活躍の場となることができています。
(3)夏まつり スタッフ会議	7	0	0	0	8	28	6	0	0	0	0	42	夏まつりの内1つのコーナーを子どもたちで担当して準備、実行する。企画内容決めや準備を行う。	夏休み期間を利用して、会議を重ね、児童の自主性を育むことができた。
(3)夏まつり	1	24	16	32	5	11	2	45	0	0	0	135	児童館内や地域文化センターで、遊びや工作のコーナーを設置して実施。	どのコーナーも楽しんで参加している様子が見られた。高学年・中学生スタッフの企画・手伝いの活躍の場となった。
(3)夏まつり会議お疲れ 様会	1	0	0	0	2	4	1	0	0	0	0	7	夏まつりに向けて企画から運営まで行ったスタッフの児童を労わる会。	お疲れ様会をしたことで、スタッフとしての達成感を感じることができ、仲間との繋がりも強くなった。
(3)じどうかんまつり スタッフ会議	4	0	0	0	7	14	0	0	0	0	0	21	児童館まつりの内1つのコーナーを子どもたちで担当して準備、実行する。企画内容決めや準備を行う。	準備や企画内容の話し合いなどを通して、児童の自主性を育むことができた。
(3)ハロウィン週間 仮面作り	1	0	1	27	1	3	0	0	0	0	0	32	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。1日目は、スパンコール等で装飾し、オリジナルの仮面を作成。	作ることも、作った仮面を身につけることも楽しむことができた

基
本
子
ど
も
育
動
成

機能	(3)ハロウィン週間 衣装作り	1	0	2	28	0	1	0	0	0	0	0	31	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。2日目は、カラーポリ袋にペンで絵や文字を描きマントを作成。	日に日にハロウィンが盛り上がる様子があった。作ったマントを身に着け、なりきって楽しむ様子があった。	
	(3)ハロウィン週間 ハンドペインティング	1	0	2	38	0	6	0	0	0	0	0	46	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。3日目は、フハンドペイントコーナーを展開し、職員がハロウィンのペイントを実施。	日に日にハロウィンが盛り上がる様子があった。手の甲にペイントをしてもらい、特別感のあるハロウィン取組を行うことができた。	
	(3)ハロウィン週間 スタッフクラブ企画「お ばけからにげろ！」	1	0	2	42	1	9	0	0	0	0	0	0	54	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。最終日は高学年と中学生がスタッフとなってハロウィンに関する人間すごろくを実施。	グループ内の友達と協力して、クイズに答えたり、ミッションを達成したりして、楽しむ様子があった。4日間連続のハロウィン週間を通して、様々な遊びや工作を体験する機会をつくることができた。
	(3)ハロウィン スタッフ会議	9	0	0	0	6	44	3	0	0	0	0	0	53	ハロウィン週間の最終日に子どもたちが担当して準備、実行する。企画内容決めや準備を行う。	高学年児童や中学生の主体性な活動の場、また活躍の場となり、実行後の子どもたちは達成感を味わうことができていた。
	(3)冬のおでかけ	1	0	0	0	1	6	1	0	0	0	0	0	8	子どもたちがやってみたいことを決め、おでかけをする。公共交通機関を利用して「おたべ本館」へ行き、おたべ作りの体験をする。	友達と行きたい場所へ行き、やってみたい体験をすることができて満足感を得ることができていた。
	(3)冬のおでかけ スタッフ会議	2	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	10	冬のおでかけに向けて、子どもたちで意見を出し合い、話し合いをする。	子どもたちが主体となって話し合いができるように進めたが、どのように行くのか考えることは難しさがあった。おでかけ後は、新聞を作成し館内に掲示した。
	(3)中高生世代と赤ちゃんとの交流活動	3	30	0	0	0	0	3	21	0	0	0	0	54	今年度からの取り組み。こども未来食堂の取り組みとコラボレーションをして乳幼児親子と中高生世代との交流を行う。	中高生の参加が少なく課題があった。継続的に取り組んでいくことで中高生になっても利用しやすい児童館を目指す。小学生高学年も募り、一緒に食事をして、思いやる気持ちや愛おしいと感じる気持ちを育むことができた。
	(5)パナソニックエイジ フリーハウス京都音羽との交流	1	0	1	2	4	1	0	0	0	0	0	0	8	今年度からの取り組み。地域の高齢者施設へ行き、利用者と児童が折り紙の壁面作成したり、童謡に合わせて肩叩きをしたりする交流活動。車いすや介護浴槽の体験。	交流や関わりを通して高齢者が生活の中でどのような不調を感じているの学び、思いやる気持ちを育むことができた。
推進活動	合 計	215	171	151	1278	117	411	39	200	0	0	0	2367			
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	子ども育成機能 合 計	194	171	149	1281	124	355	35	197	0	0	3	2312			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和7) 年度 児童館事業年間活動報告書 (音羽) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児		小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中高生	大学生			大人					
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	(1)①おとわのばんび	19	60											114	1歳から就学前を対象とした年間登録制の幼児クラブ。手遊びや体操、ふれ合い遊び、季節の工作や遊びを展開。	クラブ活動を通して、親子同士、子同士、また親子同士で関係性が深まった。良い交流ができた。入園する家庭もあり、登録数が減少傾向にある。
	(1)①おとわのこりす	21	65											139	0歳から1歳未満を対象とした年間登録制の乳幼児クラブ。手遊びや体操、ふれ合い遊び、季節の工作や遊びを展開。	クラブ活動を通して、親子同士、子同士、また親子同士で関係性が深まった。良い交流ができた。月1回の成長記録の内容は子育て家庭に好評を得ている。
	(1)①おとわっこ	22	46											91	0歳から未就園児を対象とした年間登録制の乳幼児クラブ。バランスストーンやボールプール等の遊具で運動遊びや季節に合わせた運動遊びを展開。	季節に合わせて運動会遊びを取り入れ、家庭ではできないようなダイナミック遊びなど色々な遊びを体験できた。また親子間で良い交流ができた。
	(2)消防フェスタ、避難訓練	1	21	4	3	1	1	0	26	0	0	0	0	56	親子で避難訓練や初期消火訓練、防火着用体験や消防車見学など防災に意識を持ってもらう取組。山科消防署大塚出張所と連携取組。	避難訓練や初期消火訓練、防火着用体験や消防車見学など、地域住民に防災意識を持ってもらう機会として貢献できた。
	(2)親子で交通安全教室	1	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6	乳幼児親子向けにパネルシアターを用いて交通ルールや、横断歩道の渡り方を学んでもらう取組。山科署交通課と連携取組。	交通ルールや安全に道を歩くルール等、親子で参加し学びの場となることができた。
	(2)南殿幼稚園の先生といっしょにあそぼう	1	4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	7	親子参加で活動できるプログラムに沿って集団で遊ぶ楽しさを感じてもらう取組。近隣の南殿幼稚園と連携し、新聞遊びを展開。	発達年齢に即した活動プログラムで展開することができた。日程調整が難しいが、年1回は引き続き実施。
	(2)親子でふれあい音遊び	1	7	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	14	1歳半までの親子を対象に、音や様々な楽器に触れ、音楽療法を通して子育て支援を実施。音楽療法士と連携取組。	一人ひとりの反応に応じて丁寧に関わることができた。様々な楽器や音に直接触れられる「生の体験」を取り入れた活動となった。
合 計		66	206	4	3	1	1	0	212	0	0	0	427			
活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }				児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }			
		件数 計		-					-				-			
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題					
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題								
		おたより配布 パパママ自転車べんきょうかい 学童クラブ入会説明会 自由来館一般アンケート	12 1 1 1	月1回、児童館だより(2部)を音羽学区の町内で回覧版で啓発活動。5月に実施。講習を通じて、保護者支援の取組活動。3月に実施。子どもの健全育成推進活動。子育ての状況や地域、児童館の課題についてアンケートを実施。				地域住民の方々に広く啓発することができた。自転車の選び方や交通ルールについて学ぶことができた。学童期の子育て支援を発信することができた。アンケート調査結果から、課題や状況の発信を行う。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和7)

年度

児童館事業年間活動報告書

(音羽)

児童館

基 本 活 動	活動名	実施回数	主催	参加人数									連携団体	成果と課題
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	合計			
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
(1) 地域住民との交流を促進する活動	地域実践活動	23	京都府東総合支援学校 京都市音羽児童館	0	0	0	0	0	36	16	52	京都府東総合支援学校	東総合支援学校高等部の学生さんたちが、実践的な活動をまなぶ場として貢献できた。	
	おとわ児童館まつり	1	京都市音羽児童館	22	35	7	16	1	0	34	115	音羽学区民生員協議会	今年度で2回目の取組となる。連携を図り、児童館を理解してもらう活動ができた。来年度は、他施設にも協力をお願いし、関係を深めていきたい。	
	おとわハッピークリスマス会	1	京都市音羽児童館	14	0	0	0	0	0	17	31	永興小金塚こども園 音羽学区 民生委員協議会	地域子育て支援ステーション事業の取組として実施。各団体と連携してクリスマス会が実施できた。	
	幼老交流ハロウィンパーティ	1	京都市音羽児童館	7	0	0	0	0	0	6	13	パナソニックエイジフリー ハウス京都音羽	地域子育て支援ステーション事業の取組として実施。民生委員の仲介により高齢者施設と連携し、乳幼児親子と高齢者との交流を実施できた。	
	やましなお誕生おめでとう事業	2	音羽学区民生委員協議会	0	0	0	0	0	0	2	2	音羽学区民生委員協議会	民生児童委員の赤ちゃん訪問と一緒に同行し、子育て家庭が児童館を利用するきっかけづくりを行うことができた。	
	2年生授業受入「施設見学」	2	京都市音羽小学校	0	95	0	0	0	0	7	102	京都市音羽小学校	音羽小学校2年生が授業で児童館を見学したり、職員へのインタビューをしたりして、地域で働く仕事を知る学びに貢献できた。	
合計	26			43	130	7	16	1	36	82	315			
(2) ボランティア活動の推進	活動内容			活動人数				7						
				中学生	大学生	大人	合計							
	京都橘大学 キャリアゼミ ボランティア活動				2		2	大学生を受入、児童館の実際を学ぶ場として、貢献できた。						
看護学校生実習				29		29	洛和会京都看護学校の学生を受入、乳幼児期や学童期の育成について学ぶ場として貢献できた。							
合計				31		31								
(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容										成果と課題		
	音羽学区自治連合会	団体長と意見交換、年間行事報告をおこなった。										児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。		
	音羽学区民生員協議会	毎月児童館だより配布。毎月会議で児童館や地域の情報交換を行った。児童館行事のお手伝いに協力参加。										児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。		
	音羽小学校	随時情報共有・学校行事の参観を行った。										随時連携を図り、関係を深めることができた。今後もより良い関係づくりと連携を図る。		
	永興小金塚こども園	連携・情報交換を行った。地域子育てステーション事業の連携として会議や研修、行事のお手伝い協力参加。										情報交換や行事の参画、意見交換をして関係を深めることができた。地域子育て支援ステーション事業としての連携を図る。		
	南殿幼稚園	幼稚園の先生と協力して乳幼児の取組。連携・情報交換を行った。										乳幼児の取組で参画協力。日程調整がお互い難しく次年度も実施回数1回に見直し、今後も継続。		
	東総合支援学校	地域実践活動の連携協力を行った。										今後も地域実践活動の活動の場として清掃活動と乳幼児親子との交流を通して連携し、貢献していく。		
	げんきスポット0-3	児童館だよりの交換を行った。										意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図る。		
山科消防署 大塚消防出張所	防災の取組で協力連携。										今後も防災の取組(消防フェスタ)で協力連携し、行事を進めていく。			

(令和7) 年度

児童館事業年間活動報告書

(音羽) 児童館

地域福祉促進機能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			京都市音羽児童館運営協力会		音羽学区自治連合会 音羽学区社会福祉協議会 京都市立音羽小学校 京都市立音羽小学校PTA 音羽民生協議会 音羽防犯推進委員長 音羽交対協音羽支部長 音羽老人クラブ長 永興小金塚こども園		年4回 (5、7、11、2月)	児童館事業取組内容報告 学童クラブ事業取組内容報告 年間行事計画 意見交換	各関係機関との関係性の継続を図ることができた。 児童館の取組について理解を得ることができた。 今後も、日々の取組や会議を通じて関係性を深めていく。
	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題	
(6) 地域調査活動	調査名		調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		

(令和7) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(音羽) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	音羽児童館だより 乳幼児親子・地域の方 小中高生	月1回	音羽児童館利用者 音羽民生協議会 音羽学区住民	来館時配布 ホームページ掲載 インスタグラム投稿 館外掲示 町内回覧	児童館行事 乳幼児クラブ日程、取組内容	紙面での配布も行いながら、時代に合わせて、ホームページやインスタグラムを活用した広報活動も進め、児童館の行事や取組内容を広報することができた。
	乳幼児クラブ申込用紙	年間通じて	乳幼児親子 地域住民 音羽民生協議会	来館時配布 ホームページ掲載 インスタグラム投稿 館外掲示	乳幼児クラブ登録募集	児童館だよりと同等の広報活動を行ったことで、幅広く募集を募ることができた。地域の子育て家庭が減少していることに伴って、乳幼児クラブ登録数も年々減少傾向にある。
	行事ポスター ・こどもみらい食堂 ・夏まつり ・消防フェスタ ・じどうかんまつり ・ハロウィン週間 ・おとわハッピークリスマス ・親子でふれあい音あそび	開催月	乳幼児親子 児童 地域住民	館内ポスター掲示 館前ポスター掲示 来館時配布 ホームページ掲載 インスタグラム投稿	行事の参加案内	子育て家庭の保護者に対して、インスタグラムやホームページ等のネット広報で行事の情報発信をタイムリーに行うことができた。児童に対しては、来館時に声を掛けてチラシの配布を行い、行事への参加者を募ることができた。